

三行詩 応募作品紹介

～家族で話そう!我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～

日本PTA全国協議会主催の「三行詩」への応募ありがとうございました。

素敵な家族の様子が思い浮かびます。少しご紹介します。



かぜひいて
看病母がしてくれる
そのやさしさに
ふとんの中で
そっとなみだ

いつもしかられているけれど
たまにはやさしいお父さん
ぼくもたまには親孝行しようかな

家族とは
人生さいしょの
コミュニティー

いつでも見守ってくれてるお母さん
いつか見守れる日が来るといいな

悲しい時はママの元に
みんなのお悩み解決ママ
今日も活躍 解決ママ

お父さん
いつも 反抗してごめん
でも 本音はいつも
ありがとう

遊ぶ時間が欲しいなら
手抜きするなよわかったか?
優しい言葉をかけたいが
父と母、やる気スイッチ探してる

心からやさしい弟
泣かせる自分が
はずかしい

自粛で野球がなくなって
家族と仲良く過ごし
気付けば夜
幸せくれたコロナに感謝

誕生日の今年の抱負に
「まだ知らないことを
もっと見たり知ったりしたい」
と言っていたね
その願いを一緒に叶えていこう

反抗期
言い合いしているけれど
ぼくを産んでくれてありがとう
これが本当の
気持ちだよ

ゲームをし
3分過ぎただけでおこられる
「なんでやねん」と思うも
ある意味 平和

母と喧嘩した後の
母の夕飯の味はとても温かい味
心の底まであたたまる

母からは、勉強しろと 言われるけれど
本当はめんどくさい
でも、テストではやくにたつ
これからは、自分から
勉強しようかな

